



2025年3月期 第2四半期（中間期） 決算説明資料

株式会社トーメンデバイス

2024年10月29日

証券コード：2737

<https://www.tomendevices.co.jp/>

本資料に掲載されている株式会社トーマンデバイスの業績予想、計画、事業展開等に関しましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、事業等のリスクや不確実の要因によっては、大きく変化する可能性があります。従って、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本資料は、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身の判断に基づいて行っていただきますようお願い申し上げます。

I

2025年3月期 中間期 連結決算概況

II

2025年3月期 連結業績見通し

売上高

2,073億円

ご参考

前期実績 >

1,837億円

親会社株主に帰属する
中間純利益

40億円

ご参考

前期実績 >

▲4百万円



メモリー製品の価格上昇基調の継続や、供給の逼迫が懸念された一部商品の物流確保などにより、前年同期比**増収増益**

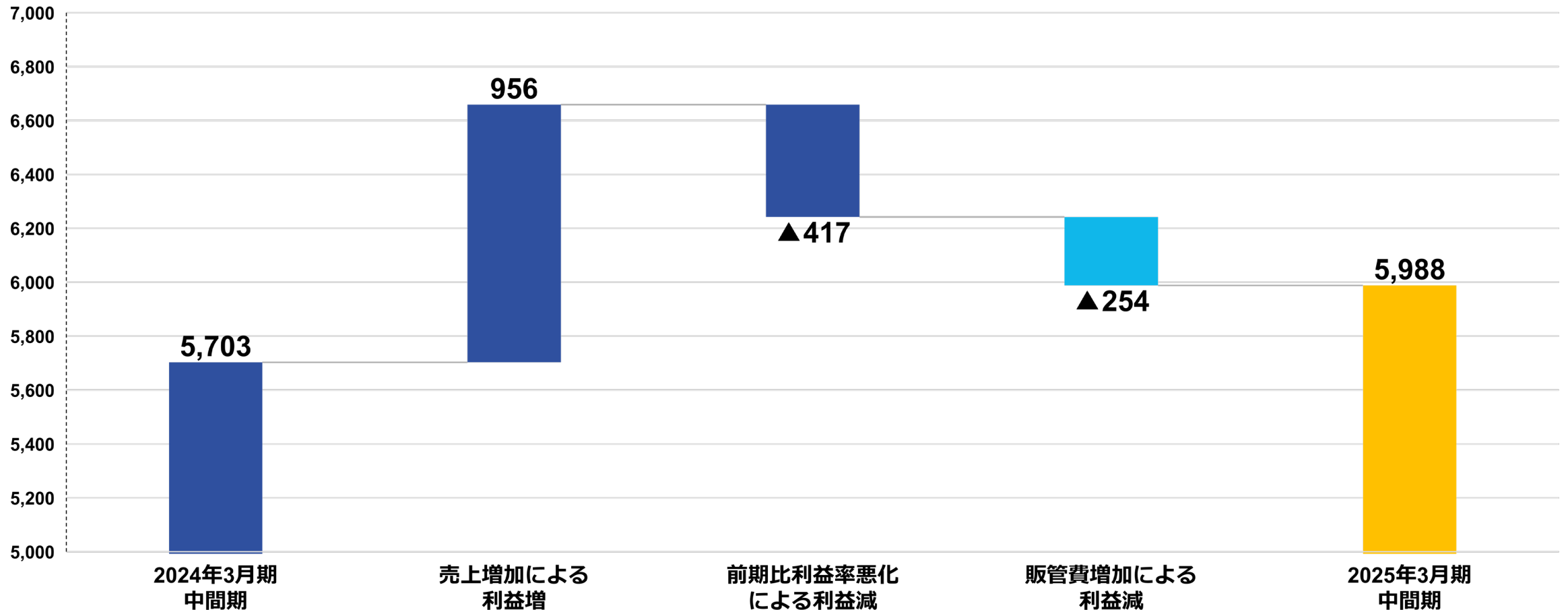
(百万円)	2024年3月期 中間期 実績	2025年3月期 中間期 実績	対前期比	
			増減額	増減率
売上高	183,781	207,304	23,523	12.8%
営業利益	5,703	5,988	285	5.0%
経常利益	3,413	5,552	2,139	62.7%
親会社株主に帰属する 中間純利益	▲4	4,024	4,028	—
1株当たり中間純利益 (円)	▲0.59	591.68	592	—

- 主力製品であるメモリー半導体の価格上昇
- 一部商品の供給が逼迫する中でも物量を確保
- 市場の在庫調整が一巡したことでの需要回復傾向
- サーバー・ストレージ、PCおよび車載向けメモリーの売上が増加

前期：取引先の民事再生手続き開始申立てを受け、貸倒引当金繰入額、棚卸資産評価損が発生し特別損失を計上

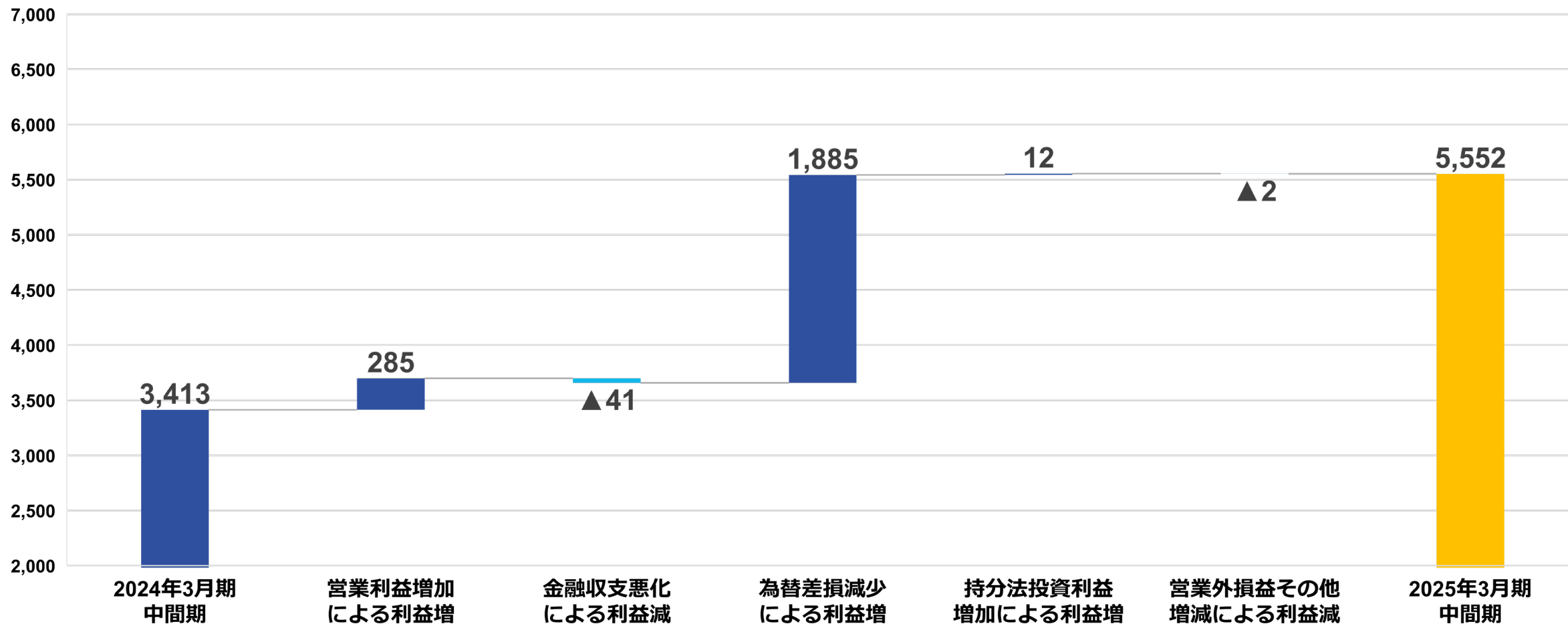
- サーバー・ストレージおよび車載向け売上増による利益増
- メモリー価格上昇基調により、利益増
- 販管費増加により、利益減

(単位：百万円)



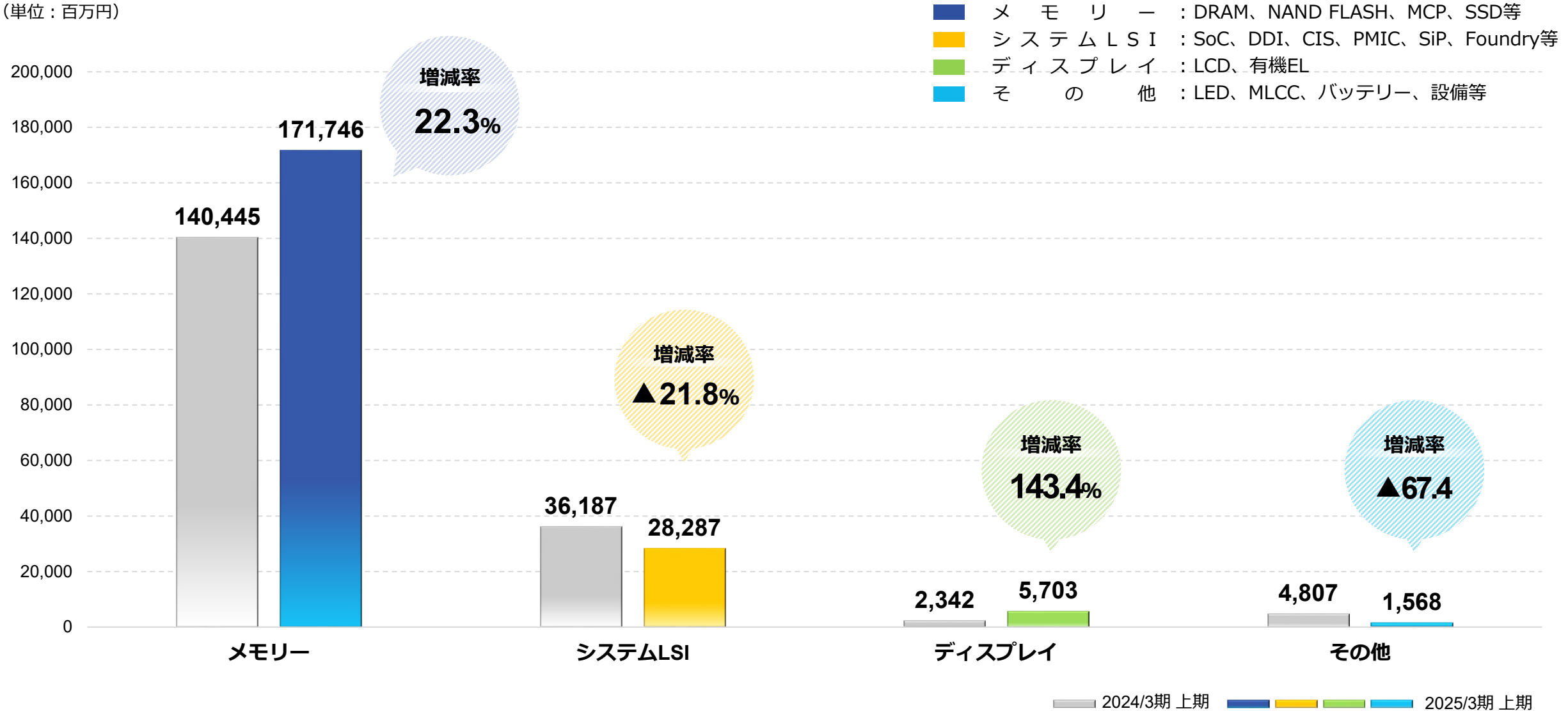
- 営業利益の増加
- 為替差損減少による利益増加

(単位：百万円)



2025年3月期 中間期 商品別 売上高推移

(単位：百万円)



メモリー

22.3%

- 一部商品の供給逼迫があったものの、サーバー・ストレージ、PC、車載向け売上の増加

システムLSI

▲21.8%

- 国内：SiP（システムインパッケージ）およびFoundryビジネスの売上減少
- 海外：スマートフォン向け高画素CIS(CMOSイメージセンサー)の売上は堅調に推移

ディスプレイ

143.4%

- 車載およびスマートフォン向け有機ELの販売拡大
- テレビ・モニター向け液晶パネルの売上は減少

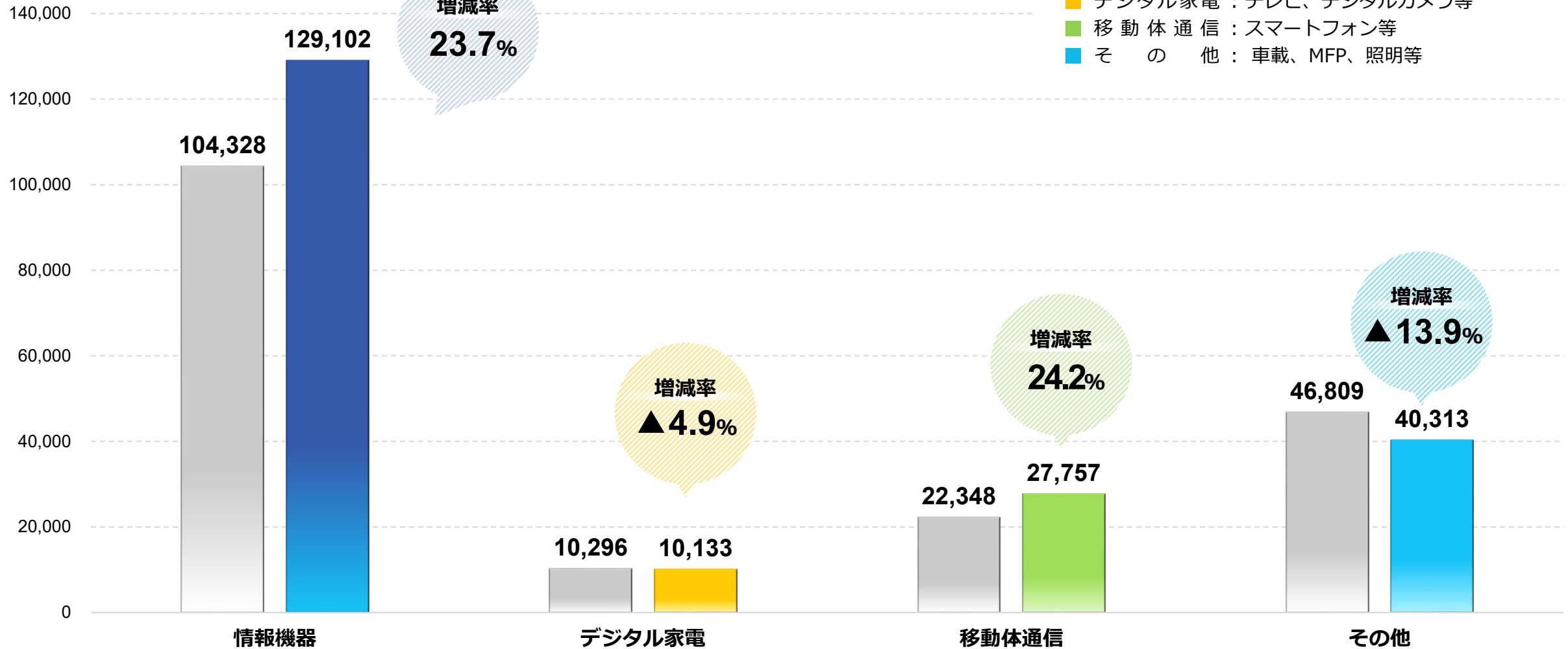
その他

▲67.4%

- テレビ向けバックライト用LEDの売上減少
- 設備関連ビジネスの売上減少

2025年3月期 中間期 用途別 売上高推移

(単位：百万円)



- 情報機器：PC、サーバー、ストレージ等
- デジタル家電：テレビ、デジタルカメラ等
- 移動体通信：スマートフォン等
- その他：車載、MFP、照明等

2024/3期 上期 2025/3期 上期

情報機器

23.7%

- サーバー・ストレージおよびPC向けメモリー製品の売上増加

デジタル家電

▲4.9%

- テレビ・モニター向け液晶パネルの売上減少
- 液晶パネル向けバックライト用LEDの売上減少

移動体通信

24.2%

- スマートフォン向け高画素CISおよび有機ELの売上増加

その他

▲13.9%

- 車載向けメモリー製品および有機ELの売上が伸長
- 国内市場でSiPおよびFoundryビジネスの売上が減少

I

2025年3月期 中間期 連結決算概況

II

2025年3月期 連結業績見通し

(百万円)	当初予想 (2024年4月26日発表)	修正予想 (2024年10月29日発表)	対当初予想比		(参考)	
			増減額	増減率	前年実績	増減額
売上高	400,000	430,000	30,000	7.5%	370,676	59,324
営業利益	7,600	8,600	1,000	13.2%	9,480	▲880
経常利益	5,400	7,200	1,800	33.3%	6,203	997
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,200	5,500	1,300	31.0%	2,096	3,404
1株当たり純利益 (円)	617.56	808.71	-	-	-	-

- 2025年3月期 中間期の進捗が好調なことから、**通期の業績予想を上方修正**
- 一部の半導体需要は旺盛だが、コンシューマ向け市場の本格的な需要回復はまだ不透明な状況
- 市場変化への対応、顧客・サプライヤーとの緊密な連携を強化し、業績予想を着実に達成していく



サーバー・ストレージ向け
NAND FLASHの拡販継続

車載Biz販売促進

Foundry/ASIC Biz拡大



海外

アジア市場での
マーケットシェア拡大

車載Biz拡大



共通

リスクマネジメントの徹底

中計PJの加速

①マーケティング活動②DX2.0推進③人材育成

2025年3月期 Biz方針に掲げた重点ポイントに対し、上期では以下の取り組みを実施しました。

全般

- 主力製品であるメモリー半導体の値上がり基調が続く中、物量確保による安定供給を実現
- 中国スマートフォン向け高画素CISの拡販
- 有機ELの移動体通信以外への販売拡大

サーバー・ストレージ向け

- 安定供給の実現およびNAND FLASHに加えてDRAM拡販へ取り組み

車載ビジネス

- メモリー製品に加え、これまで提案・種まきを行ってきた有機ELの販売拡大を実現

Foundry/ASICビジネス

- 新規デザイン活動への取り組み（種まき）

2025年3月期 Biz方針に掲げた重点ポイントを強化・加速
引き続き先行き不透明な外部環境下、以下の重点施策により事業の拡大・収益増強を図ります。

市場変化への対応・動向見極め

- ・ 生成AIの普及に伴うストレージ需要の拡大によるNAND FLASH製品の拡販活動

顧客・サプライヤーとの緊密な連携強化

- ・ 車載ビジネスにおける品質・技術サポートの強化

Foundry/ASIC ビジネス

- ・ 新規案件の創出、既存案件の継続フォロー

アジア市場

- ・ ローカル系IT企業へのアプローチによるインド市場の開拓

- メモリーは順調にD/I獲得・進行、ビジネス拡大
- メモリー以外の商材は引き続き提案、種まき

System LSI

ナビ・コックピット、AD/ADAS
向けにプロモーション強化
(Application Processor)

有機EL

ナビ・コックピット向けに
案件獲得、拡販推進

車載関係

Auto CIS

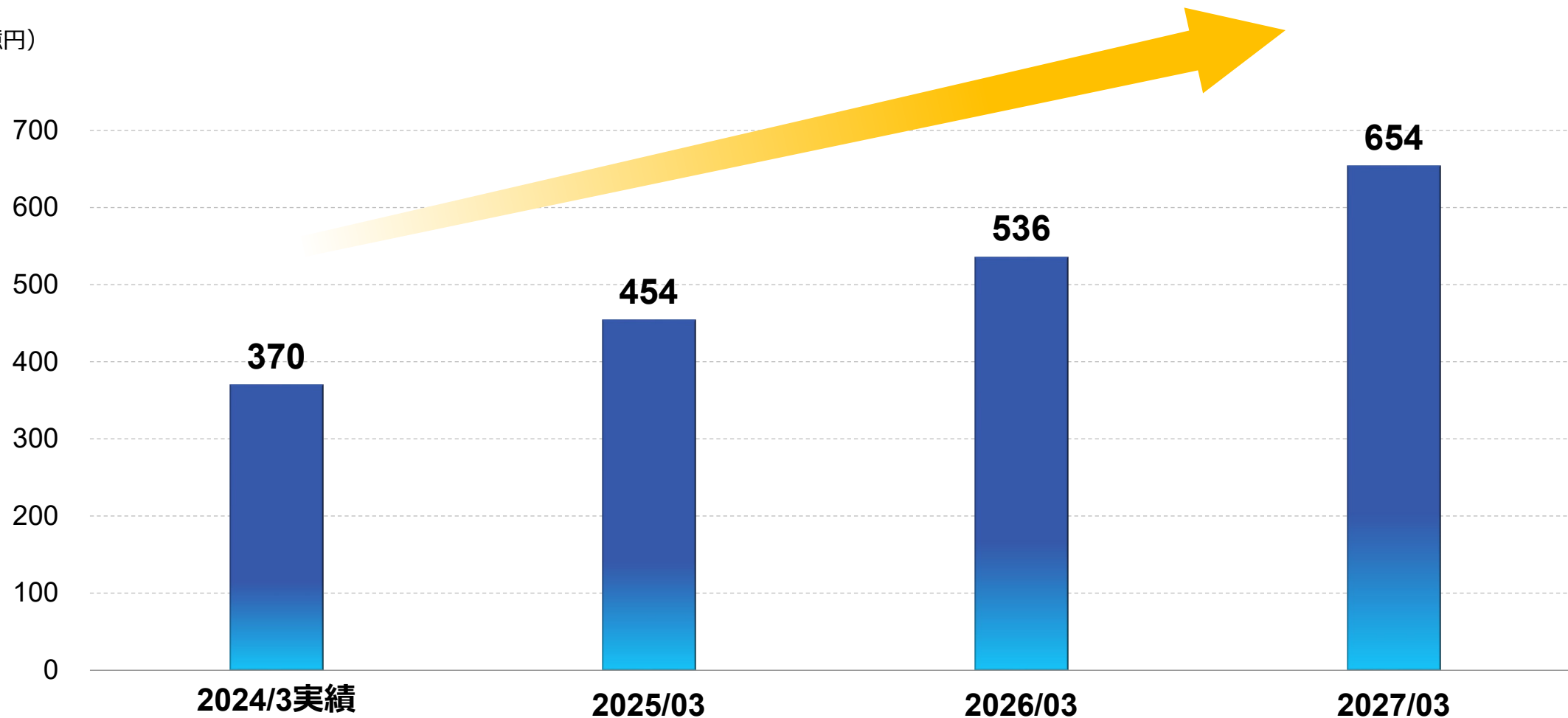
カメラシステム・AD/ADAS
向けにプロモーション強化
(CMOS Image Sensor)

MLCC

電動化、AD/ADAS向けに
案件獲得、拡販推進

- 車載用商材を拡充し市場を開拓
- 品質対応および海外サポートの体制整備

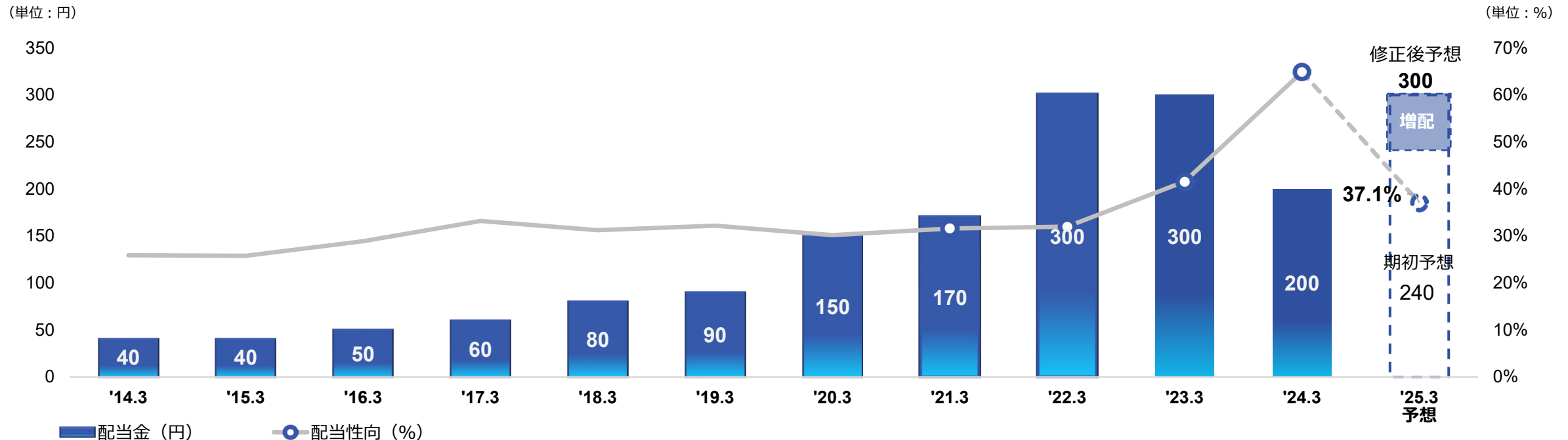
(単位：億円)



- 配当方針に変更はないが、通期連結業績予想の上方修正等など総合的に勘案し2025年3月期の配当額を期初の配当予想から**増配**

配当方針

- 連結業績に応じた業績連動型の配当
- 安定的な配当の継続を目指し、配当性向の引き上げを図っていく
- 経済環境の変化と資金需要等を勘案し柔軟に対処
- 内部留保は、激変する経済環境下における経営基盤の強化、事業拡大に伴う資金需要への充当および財務体質の強化に活用



(2024年3月期の配当性向はイレギュラー)



ご清聴ありがとうございました